

国際シンポジウムアンケート (2011/12/19) —

()内の数は、回答人数

I ご参加の目的をお聞かせ下さい。

- ・現状の確認と国際社会における男女共同参画に向けた新たな試みの知識を得るため (5)
- ・テーマに興味をもったから (2)
- ・女性研究者の考え方を知りたかった (1)
- ・教育分野における女性の実態を知りたいと思った (1)
- ・女性研究者支援の参考にしたい (1)
- ・科学の分野における女性の活躍が進んでいない理由を知るため (1)
- ・英語のListeningのため (1)

II あなたの研究・キャリアアップに役立つと思われましたか

とてもそう思う (6) ある程度そう思う (15) あまりそう思わなかった (0) まったくそう思わなかった (0)

- ・育児と研究の両立は難しいですが、今日のシンポを聞いてもっと頑張らないと励ましをもらったように思いました
- ・相互理解を深めるのに役立つかもしれない
- ・女性のがんばりがあってこそということ知りしました
- ・世界的な働きや具体的事例が参考になった
- ・実際にキャリアアップされてきた方の生の声を聞けたから
- ・神戸大学の取り組みは参考になる
- ・量を増やすことが必要、質が自然に任せてというお話はとても共感しました
- ・科学分野で活躍する女性の存在を再認識できた

III 本日の「国際シンポジウム」の感想、今後取り上げてほしいテーマがあれば、お書き下さい。ご意見ご質問も歓迎です。

- ・社会科学系・文系にもスポットをあててほしい (2)
- ・質疑応答では質問者に立場を名乗ってから発言してほしい
- ・キュリー夫人の展示 興味深かった
- ・男性のWLBの向上についてもとりあげてほしい
- ・世界的にはまだ女子への教育機会が均等ではないことを知れたのは良かった
- ・この内容で良いのでは
- ・女性の副学長をぜひ
- ・メディアへのアピールを増やしてほしい
- ・コラット氏の発表では世界の状況、特に途上国での教育について、ナリー氏の発表では先進国の問題点を理解することができた。大学の進学率が高いにもかかわらず、女性の割合が少ないのは日本の現状とも似ていると思った
- ・女性研究者 特に教授クラスの負担が大きい。過渡期のことなので仕方ないと思いますが・・・。
- ・英語教育

年齢

20代 (3) 30代 (7) 40代 (6) 50代以上 (7)

ポジション

学部生 (1) 学生 (修士課程) (3) 学生 (博士課程) (0)

職業

教員 (神戸大学) (6) 職員 (神戸大学) (1) その他〔未記入 (5) 会社員 (1) 教育関係フリー (1) 他大学職員 (1) 他大学教員 (1) 公務員 (1) 〕

国際シンポジウムの開催を知った経路は

ポスター (1) チラシ (0) Eメール・メールマガジン (6) 学内連絡 (4)
指導教員 (3) 知人 (4) ウェブサイト〔大学・推進室・その他のサイト〕 (0)
その他〔未記入 (3) 関係者からの案内 (1)〕